



# OBU おおぶ 議会だより



卒業生の水野紗希さん 「ようこそ先輩！」開校50周年記念コンサート（北山小学校）

INDEX

- ◆定例会（9月）……………2・3
- ◆決算認定に対する討論……………3・4
- ◆決算認定委員会審査状況……………5～7
- ◆そのほかの委員会審査状況……………8・9
- ◆一般質問（11人が質問）……………9～14
- ◆委員会活動報告……………15
- ◆定例会（12月）開催予定……………16
- ◆多様な方の議会での活躍がより可能に……………16

# 9月 第3回定例会

会期：令和3年9月2日から9月30日まで（29日間）

## 委員会提出議案 1件

- 委員会提出議案第2号 大府市議会会議規則の一部改正について……………原案可決（全員）  
（欠席の届出関係及び請願に係る押印の見直し）

## 条例関係 3件

- 議案第40号 大府市国民健康保険財政調整基金条例の制定について……………原案可決（全員）  
（国民健康保険の健全な財政運営に資することを目的とした基金の設置）
- 議案第41号 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について……………原案可決（全員）  
（個人番号カードの再交付手数料に係る規定の削除、デジタル庁の設置に伴う規定の整備等）
- 議案第42号 大府市感染症対策条例の一部改正について……………原案可決（全員）  
（予防接種に関することを理由とする差別的取扱い又は誹謗中傷の禁止の明確化）

## 補正予算関係 4件

- 議案第43号 令和3年度大府市一般会計補正予算（第5号）……………原案可決（全員）
- 議案第44号 令和3年度大府市一般会計補正予算（第6号）……………原案可決（全員）
- 議案第45号 令和3年度大府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）……………原案可決（全員）
- 議案第48号 令和3年度大府市一般会計補正予算（第7号）……………原案可決（全員）

## 一般議案 2件

- 議案第46号 市道の路線変更について……………原案可決（全員）  
・市道2272号線（柵山町）
- 議案第47号 土地の取得について……………原案可決（全員）  
・（仮称）大府市民球場用地（横根町）

## 決算認定議案 5件

各会派の討論（賛成・反対の意見表明）の主な内容は、3・4ページのとおりです。

- 認定第1号 令和2年度大府市一般会計歳入歳出決算認定について……………認定（多数）
- 認定第2号 令和2年度大府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について……………認定（多数）
- 認定第3号 令和2年度大府市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について……………認定（多数）
- 認定第4号 令和2年度大府市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について…認定及び原案可決（全員）
- 認定第5号 令和2年度大府市下水道事業会計決算認定について……………認定（全員）

## 意見書 3件

- 意見書第3号 国の私学助成の拡充に関する意見書……………原案可決（全員）
- 意見書第4号 教職員定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書……………原案可決（全員）
- 意見書第5号 出産育児一時金の増額を求める意見書……………原案可決（全員）

賛成・反対が分かれた議案 (全会一致の議案は省略しています)

○：賛成 ×：反対

議案番号	結果	自民クラブ							市民クラブ					公明党		無所属クラブ		共	会	風	
		藤本宗久	太田和利	酒井真二	鷹羽琴美	加古守	山本正和	早川高光	小山昌子	大西勝彦	三宅佳典	野北孝治	木下久子	柴崎智子	国本礼子	鷹羽登久子	宮下真悟				久永和枝
認定1	認定	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
認定2	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
認定3	認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※議長は地方自治法の規定により、議決に加わることはできません。※一番上の行は、議員の所属会派を表します。「共」は日本共産党、「会」は無会派クラブ、「風」は風民の会です。

# 令和2年度決算認定に対する討論

9月議会最終日(9月30日)、令和2年度決算認定議案の採決に先立って、7会派から討論(賛成・反対の意見の表明)がありました。主な内容は、次のとおりです。

## 自民クラブ

令和2年度の大府市政に対しては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、「お金とリスク」のバランスを取りながら、職員力を結集し、他市町に先駆けて、感染症対策を実行したことを高く評価したい。

中でも、市民生活と市内事業者の経営維持を支援するために交付した「おおぶ元気商品券」は、自治体が行うことができる経済対策として、効率よく消費喚起ができたものと考えられる。

もう一つは、「子どもを産み育てやすいまちづくり」に向けて、不安を抱える子育て世帯に対し、令和2年度中に生まれた全ての子どもに一人10万円を支給したことである。

さらに、小中学校の教育現場においては、不安を抱える子どもたちの相談体制づくりとして、養護教諭補助員と特別支援学級補助員を増員するとともに、スクールソーシャルワーカーとスクールロイヤーの新規配置を実現した。コロナ禍においても、一人一人に目が届く体制づくりを実行したことを評価する。

以上のとおり、一般会計決算認定に賛成する。

## 市民クラブ

令和2年度は、まさにコロナ対応に追われた1年であった。このような未知なる危機に対応するのが行政の役割であり、こういうときのために行政があると言っても過言ではない。大府市は、岡村市長の強いリーダーシップの下、感染防止対策、市民生活や経済活動への支援など、人的リソースを集中し、組織横断的なプロジェクトを組み、他の自治体と比較しても迅速に事業を展開できた。おおぶ元気商品券、大府市臨時特別出産祝金など、市民生活の支援事業について、財政規律を保ちながら効果的に実施できたことは高く評価する。危機における市長としては、その実力を遺憾なく発揮されたと思う。何よりも、市長の強いリーダーシップの下、持ち場立場で、最前線で仕事に当たった職員の方々に敬意を表する。

市制施行50周年の節目の年に、コロナ危機が訪れたことをチャンスに変え、市が行う事業の本来の意味を考える絶好の機会と捉え、次の50年へのレガシーを築くことを期待して、賛成討論とする。

令和2年度、経済社会活動の厳しい中、市民の生命や生活を守り抜くことを第一義とし、必要な施策・新事業に取り組まれたことを評価する。財政力指数は、単年度1.13で、余裕の自主財源ではないことから、知恵を絞り、行財政改革に取り組まれたことは評価するが、経常収支比率は81.9%であり、引き続き、財政構造の弾力性には注視の必要性がある。全中学校の体育館・柔剣道場への空調機設置には、国からの補助金を獲得し、実現に至った。また、新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金事業では、独自システムの開発などで、スピード給付につながった。

今後は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、それぞれの政策目標の実現を目指す上で、分野横断的な連携を深め、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある大府市の実現が求められる。コロナ禍の貴重な経験は、必ずや、市民生活の安定と経済成長を促す要因となる。今後の持続可能な健全財政を堅持することに期待をし、賛成討論とする。

## 公明党

令和2年度、経済社会活動の厳しい中、市民の生命や生活を守り抜くことを第一義とし、必要な施策・新事業に取り組まれたことを評価する。財政力指数は、単年度1.13で、余裕の自主財源ではないことから、知恵を絞り、行財政改革に取り組まれたことは評価するが、経常収支比率は81.9%であり、引き続き、財政構造の弾力性には注視の必要性がある。全中学校の体育館・柔剣道場への空調機設置には、国からの補助金を獲得し、実現に至った。また、新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金事業では、独自システムの開発などで、スピード給付につながった。

今後は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、それぞれの政策目標の実現を目指す上で、分野横断的な連携を深め、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある大府市の実現が求められる。コロナ禍の貴重な経験は、必ずや、市民生活の安定と経済成長を促す要因となる。今後の持続可能な健全財政を堅持することに期待をし、賛成討論とする。

# 令和2年度決算認定に対する討論

賛

成

反

対

## 無所属クラブ

新型コロナウイルスの世界的流行は、ワクチン接種が進みつつある現在もなお進行中である。次の50年に向けた今後のまちづくりの新たな起点として、その最初の基盤となる第6次総合計画の初年度でもあったが、無所属クラブとしてはそこにコロナ禍がどう影響したかという視点を今回の決算審査に臨むに当たっての主軸とした。

中止や縮小を余儀なくされた事業が多々あった中、それらが何のためかを見つめ直し、必要性を精査し、その目的により一層近付けていくための手法の検討が改めて必要との視点から、各施策の展開を引き続き注視していく。

補正予算が18回に及ぶなど、臨機応変にやり繰りしつつ、専決処分を可能な限り避けて議決に付した点を大いに評価する。次々と出現した喫緊の状況に対して臨機応変に、かつスピードを重視したからこそ、財政調整基金の取崩しで先行的に財源を確保してコロナ対策に充て、国や県のコロナ財源を事後的に付け替える手法が活用された点も、運用として適切であったと考える。

## 無会派クラブ

今なお続く新型コロナウイルスとの闘いが始まった令和2年、岡村市政は多くの補正予算を矢継ぎ早に提案し、議会もこれを迅速かつ慎重に審議した。多くの市民がこれらを評価し、多くの共感と賛同を集めた。

令和2年7月補正予算で、市内の自動車関係の縫製会社と介護事業所、一般市民と大府市が、大府市オリジナルのアイソレーションガウン（防護服）を、寄附分も合わせて2万着を製作し、一部を介護事業所に配布した。今後、家庭内感染対策への活用が期待される。

コロナ禍により、全国の保育園、福祉施設、家庭などが孤立した。深刻な人権侵害事例も多く報道されたが、大府市では長年、虐待防止シンポジウムや相談活動、民間の専門家との協力などが活発に行われている。今後、虐待や人権侵害の連鎖を許さず、根絶を目指す丁寧な対応が求められる。

私たちは、独善的な反対ではなく、対話しながら、市民と大府市と議会が一体となり、この難局を乗り切っていくことを市民から期待されている。

## 日本共産党

以下の理由で反対する。

◆ 正規職員と同じ責任を負う、1年雇用の低賃金の非正規雇用制度を始めたこと。

◆ 個人情報を守る立場の市が、本人の了解なく、自衛隊員募集のため、18歳・22歳の市民の名簿を宛名シールにして自衛隊に提供したこと。

◆ 大府駅・共和駅間の約3kmの間に新しい駅を設置するため、区画整理事業を推進し、乗降客増を指すなど、目先の利益のために大府市の緑を減らしていくこと。

◆ 国保税の引上げで加入者の7割が影響を受けたこと。後期高齢者医療保険料が平均10%引き上げられ、過去最高額の負担となったこと。

消費増税増税分の収入増や、国の補助金の活用により、財政的にも余力を残している。しかし、人件費を削り、市の財政に充てるやり方は、市民サービスの低下として返ってくる。

コロナ禍で災害級の緊急事態の年であり、大府市独自の医療費削減やPCR検査の拡充など、市民や事業者への支援で、「何より命」の事業展開が必要である。

## 風民の会

コロナ禍でありながら、令和元年度よりも市民税や固定資産税が増加した黒字決算となり、財政力指数が基準の1を超え、普通交付税不交付団体を維持したことは評価する。

しかし、市民に寄り添った行政執行がなされていたかという観点から、認定しがたい点があり、反対する。

一つ目は放課後クラブの公設民営化である。安定性や継続性が求められる子どものための事業には、民間委託はそぐわないと考える。

二つ目は個人情報保護である。マイナンバー制度開始後6年になるが、個人情報漏洩事案は後を絶たない。安全性が担保されないまま、保険証や戸籍とひも付けする等の利用拡大は承服できない。自衛隊員募集のため、本人の同意なく、自衛隊に名簿を提供したことも承服できない。

三つ目は教育費の使い方である。タブレット端末の活用を視野に、教育現場の声を聞き、補助教材等の公費負担を見直すべきである。また、子どもに行き届いた教育を進めるため、ICT支援員や市独自の教員の雇用等、人的支援が必要である。

# 決算認定委員会 審査状況

## 総務委員会

令和2年度大府市一般会計歳入歳出  
決算認定について

**問** 職員採用試験について、コロナ禍における感染拡大防止の観点から志望者が少しでも遠距離移動とならないための会場確保をどのように実施したか。

**答** 遠隔地受験として、全国47都道府県に約270か所ある試験会場を受験できる方法を採用した。

**問** 職員の接遇向上について、どのような内容の研修を行い、どのような効果があったと考えるか。

**答** ハードクレーム対応研修を実施したことで、多様化する要望や苦情等に対する職員の知識の習得や、スキルの向上などの効果があった。

**問** 在宅勤務の実証実験の結果から、職員の柔軟な働き方に資するための更なる推進に向けた課題に対して、どのように総括したか。

**答** 実施した職員の意見を取りまとめ、週当たりの実施回数拡大や、勤務時間及び休憩時間を柔軟に運用するなどの見直しを行った。

**問** 「市長への手紙」や「市長へのメール」で受け付けた内容の中で、事業に反映されたものはあったか。

**答** 市民からの要望をきっかけとして、臨時特別出産祝金の対象者の拡大や、当時不足していたマスクのあっせん販売等を実施した。



▲市民の声から実現した「マスクのあっせん販売」

**問** 特別定額給付金システムの内部開発には、どのくらいの時間や費用が必要であったか。

**答** 申請書の発送から振込データの作成までの機能を備えたシステムを約2週間で構築した。また、内部開発のため、職員の人件費以外の費用は掛かっていない。

**問** 市税の徴収について、新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予措置や減免という要因があったにもかかわらず、現年度賦課分の徴収率が高かった理由をどのように考えるか。

**答** 令和2年10月からスマホ納税を採用したことや、ステイホームにより、督促状や催告書に気付いてもらえる機会が増えたことから、市民の納税意識が高まったと考える。

**問** 高齢者運転免許証自主返納支援事業や高齢者安全運転支援装置設置費補助金の活用件数と、高齢者ドライバーによる事故件数の推移に相关性はあったか。

**答** これらの事業により、高齢者の交通安全に対する意識は確実に向上したと考える。また、高齢者人口は増加傾向にあるが、高齢者ドライバーによる事故件数は、直近3年間でほぼ一定数に落ち着いているため、交通安全意識の向上が事故件数に影響していると考えられる。

**問** オリンピックのレガシーを受け継ぐための「アフターメダルプロジェクト」として、どのような啓発を行ったか。

**答** 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は終了したが、リサイクル意識を定着させるために、「スペシャルオリンピックス日本応援プログラム」を支援するためのリサイクルボックスをメディアスポーツ館におおぶを始めとする公共施設や市内企業等に設置した。



▲市役所前に設置された「都市鉱山メダル発祥の地・記念碑」

**問** DAIWA防災学習センターでは、自助及び共助の意識を醸成するために、どのような啓発を行ったか。

**答** 施設の開館を広報紙や市公式ウェブサイトで情報発信した。テレビ局の取材時には、アナウンサー自身に施設で疑似体験してもらい、災害時の自助や共助の大切さが報道されており、多くの方の防災研修の場となっている。

## 厚生文教委員会

令和2年度大府市一般会計歳入歳出決算認定について

**問** 「学生応援！ふるさと便おおぶ」において、地元産の食品やマスクなどの生活物資を送付した効果は何か。

**答** 発送したのは、初めて緊急事態宣言が発出され、帰省や外出の自粛が求められる時期だったため、すぐに飲食できる食品や当時不足していたマスクは、学生に喜ばれ、地元PRにつながった。また、地元産の食品を採用したため、地元生産者の支援にもなった。



▲市外で生活する学生への支援「学生応援！ふるさと便おおぶ」

**問** 令和2年度における、子宮頸がんワクチンの予防接種者数が、前年度に比べて大幅に増えた理由は何か。

**答** 厚生労働省からの通知により、接種の対象となる高校1年生及び中学生の女子に対して、個別に情報提供したことが影響したと考えている。

**問** スクールロイヤールの配置によって、どのような効果があったか。

**答** 学校が問題解決のために素早く弁護士に相談できる体制を整備したため、より適切で確実な判断や対応が可能となった。

**問** 心の教室相談員への相談件数が、令和2年度は前年度に比べ1.6倍に増加したが、相談の内容はどのような傾向だったか。

**答** 学校によって違いはあるが、友人、家族などの対人関係の相談や自身の体、健康に関する相談が多かった。一方で、学習、進路に関する相談や、いじめ、不登校に関する相談は少ない傾向にあった。

**問** 部活動が教職員の負担になっているという現状に鑑み、部活動指導員の導入以外に、どのような改善策を検討したか。

**答** 保護者の意向にも配慮しながら、平日の活動日を削減することや、最

終下校時刻を早めることなど、令和3年度からは、更に部活動の活動量自体を減らすこととした。

**問** 新スポーツ施設整備検討委員会の開催状況はどうだったか。

**答** 具体的な整備内容を協議する場である検討委員会は、「三菱大府グランド」の用地取得後に設置する。



▲用地を取得することが決定した「三菱大府グランド」(横根町)

**問** 障がい者虐待アンケートの回答数及び被虐待者数が、年々増えている理由は何か。

**答** 回答数の増加は、アンケートの対象者や対象事業所が年々増加し、回収率も上昇したためである。また、関係機関の虐待に関する認知度などが高まった結果、緊急性が高い事例ではなくても虐待と認識されるようになったことが、被虐待者数が増加した要因と考えている。

令和2年度大府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

**問** 一般会計からの繰入金額より、歳入歳出差引額が上回っているが、一般会計からの繰入金金の減額を検討しなかったか。

**答** 一般会計からの法定外繰入れについては、令和元年度の繰入額の実績を踏まえて、令和2年度の当初予算及び年度途中で減額を行い、令和元年度と比較して2億円を減額した。

## 建設産業委員会

令和2年度大府市一般会計歳入歳出決算認定について

**問** 空家対策を実施したことにより、どのような効果があったか。

**答** 関係者に対し、情報提供や意識啓発を行った結果、平成29年度の空家等実態調査では、567件あった空家数が、令和2年度末時点では、約250件に減少した。

**問** 大府駅と共和駅間の新駅建設計画について、JR側に対して、どのような働き掛けを行ったか。

**問** 令和3年2月にJ.R東海本社に出向き、駅周辺のにぎわい創出についてなど、本市のまちづくりの状況を交えて話し合いを行った。

**問** 有害鳥獣の駆除のために、有効な方法を検討したか。

**答** 鷹や音声システムを使ったカラスの追い払いを検討した。また、カラスの生息数を減らすため、餌の少ない冬場に、生ごみや収穫残渣が餌にならないよう適正に管理することについて、農業者や市民に啓発した。



▲鷹を使った「カラス追い払い実証実験」

**問** ウェルネスバレー地区におけるヘルスケア産業の創出支援の具体的な内容と成果は何か。

**答** 医療介護機関にアイデアボックスを設置し、現場の課題解決のための医福工連携マッチング支援を実施

することで、医療介護機関とものづくり企業とのマッチングの場を創出し、試作品や新製品の開発が実現した。

**問** 火災や火傷の原因につながりかねない消毒用アルコール、飛沫防止ビニール等について、その取扱いや設置に関する啓発、指導を積極的に行ったか。

**答** 消防本部のウェブサイトに取扱い上の注意点を掲載した。また、小売店や飲食店には、店内状況を確認しながら注意喚起文書とリーフレットを手渡しして、飛沫防止シートを使用する際は燃えにくい素材のものを使用するように啓発、指導を行った。

**令和2年度大府市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について**

**問** 「大府市水道ビジョン2030」の策定について、何に力を入れていくために、「安全」、「強靱」、「持続」の三つの柱を立てたのか。

**答** 三つの柱に力を入れていくことにより、安全な水道水の確保、強靱な給水の確保、持続的な供給体制の確保を図るためである。



**令和2年度大府市下水道事業会計決算認定について**

**問** 下水道事業会計の健全経営を維持するために、下水道使用料の改定を検討したか。

**答** 大府市公共下水道事業経営検討委員会から、「下水道事業が将来にわたって持続していくためには、下水道使用料の早急な改定を必要とする」との報告を受けたため、決算数値から経営分析を行い、適正な下水道使用料について検討している。

そのほかの委員会  
審査状況

総務委員会

令和3年度大府市一般会計補正予算(第7号)

**問** 特殊詐欺防止用電話機器等購入費補助制度は、どのような経緯で創設することにしたのか。

**答** 本市では、令和3年7月に3件、9月に1件、電話を使った詐欺被害が発生した。また、愛知県警本部から市長に対し、制度創設の依頼があったこともあり、特殊詐欺被害を防止するための対策として創設することとした。

**問** 電話機器等購入費の補助対象者及び補助金額はどのような想定か。また、利用件数の見込みはどうか。

**答** 65歳以上の高齢者を含む世帯を対象とし、補助金額は対象機器の購入金額の2分の1以内で、5千円を上限としていく。また、利用件数は今年度末までで、160世帯と見込んでいる。

厚生文教委員会

大府市国民健康保険財政調整基金条例の制定について

**問** 今回の基金条例の制定によって、以前に比べ、更にわかりやすく、透明性のある予算執行につながるのか。

**答** この基金の設置によって、更なる「見える化」及び透明化が図られると考えている。



大府市感染症対策条例の一部改正について

**問** 予防接種に関することを理由とする差別的取扱いや誹謗中傷の禁止に効果を上げるために、何をしていくのか。

**答** 9月時点でワクチンの接種率が5割を超えている段階にあり、今後、職場や学校で差別などが起こることが想定されるため、担当部署を含め効果的な啓発の検討をしていく。

令和3年度大府市一般会計補正予算(第5号)

**問** 当初予算に、全市民の2回分のワクチン接種の経費を計上していなかったのか。

**答** 予算の基本的な考え方として、本市の場合は、歳入と歳出とが合致

するように計上している。今回、国からの補助金にあわせて、10月以降の接種に係る経費を計上した。

**問** この補正予算は、何月分までのワクチン接種の経費が計上されているのか。

**答** 国の補助対象である11月末をめぐりとして計上している。

令和3年度大府市一般会計補正予算(第6号)

**問** (仮称)大府市民球場の土地購入に当たって、三菱重工業(株)との用地交渉は、どのような経緯で進めてきたのか。

**答** 令和2年の秋頃から譲渡意向がある旨を把握しており、本市から野球場の買取りについて打診を行った。令和3年度に入り、三菱重工業(株)から用地の引渡し時期が示されたため、急ぎよ、鑑定評価を行い、用地交渉を進めた。

**問** 野球場の敷地内にある施設の購入費は、どのように算定したのか。

**答** 室内練習場については、鑑定評価により算出された再調達原価から

約9割を減価償却したものである。また、フェンスなどの工作物については、グラウンドと一体で行った鑑定評価から算出した。



▲「三菱大府グランド」の敷地内にある室内練習場

**問** 野球場の供用開始時期や利用者の範囲など、今後の運用について、どのように考えているか。

**答** 今後、新スポーツ施設整備検討委員会を設置し、関係者などから広く意見を集め、判断していきたいと考えている。

令和3年度大府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

**問** 保険税の応益割に係る旧被扶養者減免の経過措置の見直しによって、どのくらいの人に影響があるのか。

**答** 約40人が対象となり、影響額は、全体で約91万円と見込んでいる。

建設産業委員会

令和3年度大府市一般会計補正予算(第5号)

**問** 今回の交通安全施設の修繕については、小中学校の通学路や保育園・幼稚園の散歩コースが対象であるが、それ以外の場所の安全対策は検討しているか。

**答** 今回の補正予算にはないが、必要であれば当初予算で対応していく。

**問** 平成27年度に実施したプレミアム付商品券事業を踏まえた、今回の「おぶちゃん商品券」の特徴は何か。

**答** 1世帯の購入数の上限を50冊から5冊に見直す。新型コロナウイルス感染症対策として、並ばなくても購入できるように事前申込制とし、申込みが多数の場合は抽選とする。

**問** 愛知県のげんき商店街推進事業費補助金の対象事業の中で、プレミアム付商品券を選択した理由は何か。



**答** 市と商工会議所で検討を行い、新型コロナウイルスで苦勞している幅広い事業者への支援とその意欲向上につながるものであること、また、市民の生活支援にも寄与するものであると考えたためである。



▲市内の登録店舗で利用できるプレミアム付商品券

**令和3年度大府市一般会計補正予算 (第6号)**

**問** まちづくり検討会議に関する費用を補正予算で計上するのはなぜか。

**答** 令和3年度に策定予定の立地適正化計画の進捗状況を踏まえ、大府駅及び共和駅周辺のまちづくりの計画も策定することとした。当初は、大府駅を中心として考えていたが、新たに共和駅周辺を含んで検討する

ことにしたため、本補正予算での計上となった。

**問** 駅前再開発の先進地視察として予定している内容は何か。

**答** 視察先としては、豊橋駅、国府宮駅、三郷駅を予定しており、ロータリー、駐車場、駐輪場など、施設の規模や配置を見ながら、人の流れや車の動線を確認する予定である。

**令和3年度大府市一般会計補正予算 (第7号)**

**問** 既存のがんばる事業者応援補助金制度に加えて実施する設備投資に関する補助は、既にこの補助制度を利用していただけの場合でも、再度申請することができるのか。

**答** 今年度、別の補助メニューを申請していた場合でも、再度の申請を可能とする運用を考えている。

**問** 一事業者が、設備投資に関するがんばる事業者応援補助金とあいスタ証取得飲食店応援金の両方を申請することはできるか。

**答** 重複して申請することは可能である。

## 一般質問

(11人) ※正副議長は一般質問を行わない慣例になっています。



指定管理者制度について

小山 昌子 議員



**質 問** 指定管理者制度の目的である、市民サービスの向上や業務の効率化などをどのように評価しているのか

**答** 本市は、平成17年度に指定管理者制度を導入して以来、民間活力による効率的な施設運営と市民サービスの向上を基本方針として積極的に活用してきた。本市の指定管理においては、個別施設の効率化に加え、指定管理施設、市直営施設、民間施設の相互連携・相乗効果を重視し、市全体で質の高いサービスを提供している。また、地域と連携した多彩な事業を実施するなど、各施設で指定管理者のノウハウを生かした特色ある運営が行われていると考えている。

割分担のもとで、快適に施設を利用していただけの維持管理が必要であると考えている。来年度からは、更に効率性を高めるため、施設ごとに年間の修繕予算を設け、これまでの指定管理委託料に加算することで、指定管理者による適時的確な修繕を行っていく。

**質 問** 今後の指定管理者制度の方向性をどのように考えるか

**答** 指定管理者制度は、民間事業者のノウハウを生かし、市民サービスを向上させる有効な手法の一つであり、今後も新規導入を検討していく。また、毎年の運営評価により、制度の導入効果を検証するとともに、市民ニーズや民間施設の動向などの社会変化を踏まえ、指定管理の更新時には、指定管理、民営化、市直営など、最適な施設の運営方法を検討し、更なるサービスの向上に取り組んでいく。

**質 問** 施設・設備の維持管理における指定管理者制度の課題をどのように考えるか

**答** 指定管理施設においては、市と指定管理者が適正な役割



## コロナ時代の、持続可能で 発展的な市民活動のために

鷹羽 登久子 議員



**問** コロナ禍における市民活動の現状はどうか

**答** 感染へのおそれから、市民活動への参加意欲に差が生まれてきている。そのため、活動を縮小したり、休止する団体が多く見られ、中には解散する団体もあった。活動継続のための工夫として、パソコンやスマートフォンなどで利用できるウェブ会議システムの活用は、三密や接触を避けて会議を実施する有効なツールとして、市民活動団体に急速に広まっている。

**問** コロナ時代だからこそ求められるICTの活用について、市当局が取り組むべき支援の考えは

**答** 日常生活に様々な制約が続く中、三密や接触を避けて市民活動を継続する手段として、ICTの有効性が高まっている。今後もICTを積極的に活用し、コロナ禍においても持続可能な

**問** 市民活動の支援を行っていく。

**答** 現在、市役所本庁舎のほか、指定管理者制度を導入している施設の一部に整備をしている。整備していない施設についても、施設の用途及び公衆無線LANの導入目的を考慮しながら、その必要性について調査研究を行っていく。

**問** 市民活動のこれからについて、活動の継続や再始動のための支援の考えは

**答** 大府市民活動センターにおいて、市民活動団体からの相談にきめ細かに対応するとともに、ウェブ会議システムなどのICT活用の提案や、団体間のマッチングを行っていくことが市民活動団体への支援になると考えている。

**問** 「新しい生活様式」を踏まえた今後の「通いの場」は

**答** 本年度から、「ふれあいサロン」「常設サロン」に加えて、「全世代型サロン」の開設を支援し、高齢者だけでなく、「食」を通じた世代を超えた地域住民同士のつながりづくりを推進している。適切な感染防止対策を実施しつつ、サロン活動を通じて地域の顔の見える関係

市民活動の支援を行っていく。

**問** 公共施設の公衆無線LANの整備を拡充、加速化することへの見解は

**答** 現在、市役所本庁舎のほか、指定管理者制度を導入している施設の一部に整備をしている。整備していない施設についても、施設の用途及び公衆無線LANの導入目的を考慮しながら、その必要性について調査研究を行っていく。

**問** 市民活動のこれからについて、活動の継続や再始動のための支援の考えは

**答** 大府市民活動センターにおいて、市民活動団体からの相談にきめ細かに対応するとともに、ウェブ会議システムなどのICT活用の提案や、団体間のマッチングを行っていくことが市民活動団体への支援になると考えている。

**問** 「新しい生活様式」を踏まえた今後の「通いの場」は

**答** 本年度から、「ふれあいサロン」「常設サロン」に加えて、「全世代型サロン」の開設を支援し、高齢者だけでなく、「食」を通じた世代を超えた地域住民同士のつながりづくりを推進している。適切な感染防止対策を実施しつつ、サロン活動を通じて地域の顔の見える関係

**問** 市民と市が共通する課題を解決するために協働の手法を用いたツールの一つであると認識している。災害時に、災害対策本部と災害対策支部との情報共有に活用できる可能性がある一方で、画像に個人情報が含まれる場合もあるなど、アプリケーションのメリット・デメリットを検証する必要がある。

**問** フィックスマイストリートジャパンの有効利用は

**答** 高齢者を対象とした初心者向けスマートフォン教室を、民間企業と連携した公民館講座として開催するほか、緊急通報装置の設置時には、市職員も同行し、ICT機器の利活用の重要性を個別に説明している。



## つながり支え合う 社会を目指して

柴崎 智子 議員



**問** コロナ禍に見る、介護予防に資する「通いの場」について、高齢者の自発的な体力維持又は運動状況の実態を調査することが重要ではないか

**答** 後期高齢者対象の健康診査の問診項目には「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」との設問もあり、状況を把握することが可能である。今後も、継続して運動状況の把握に努め、実態を踏まえて事業の検証を行っていく。

**問** 高齢者を対象とした初心者向けスマートフォン教室を、民間企業と連携した公民館講座として開催するほか、緊急通報装置の設置時には、市職員も同行し、ICT機器の利活用の重要性を個別に説明している。

**問** 市民と市が共通する課題を解決するために協働の手法を用いたツールの一つであると認識している。災害時に、災害対策本部と災害対策支部との情報共有に活用できる可能性がある一方で、画像に個人情報が含まれる場合もあるなど、アプリケーションのメリット・デメリットを検証する必要がある。

**問** フィックスマイストリートジャパンの有効利用は

**答** 高齢者を対象とした初心者向けスマートフォン教室を、民間企業と連携した公民館講座として開催するほか、緊急通報装置の設置時には、市職員も同行し、ICT機器の利活用の重要性を個別に説明している。

**問** 市民と市が共通する課題を解決するために協働の手法を用いたツールの一つであると認識している。災害時に、災害対策本部と災害対策支部との情報共有に活用できる可能性がある一方で、画像に個人情報が含まれる場合もあるなど、アプリケーションのメリット・デメリットを検証する必要がある。

**問** 市民と市が共通する課題を解決するために協働の手法を用いたツールの一つであると認識している。災害時に、災害対策本部と災害対策支部との情報共有に活用できる可能性がある一方で、画像に個人情報が含まれる場合もあるなど、アプリケーションのメリット・デメリットを検証する必要がある。

**問** 市民と市が共通する課題を解決するために協働の手法を用いたツールの一つであると認識している。災害時に、災害対策本部と災害対策支部との情報共有に活用できる可能性がある一方で、画像に個人情報が含まれる場合もあるなど、アプリケーションのメリット・デメリットを検証する必要がある。

※通いの場とは、高齢者や地域住民が主体的に取り組む介護予防や心身虚弱予防に資する、月1回以上の多様な機会・活動のこと。  
※フィックスマイストリートジャパンとは、スマホを使い、道路の破損等、地域の課題を市民と行政が共有し、解決するための仕組みのこと。



市民要望を伝える  
仕組みの改善を考える

大西 勝彦 議員



**質** 市民要望を伝えるための仕組みの改善を全庁的に考えているか

**答** ICTを活用した通報システムの良いは、市民の皆様が、道路や防犯灯などの不具合に気付いたその場で、スマートフォンなどで写真を撮影し、すぐに投稿できる点にあると感じているが、投稿された情報は誰でも見ることができ、個人を特定した投稿などの個人情報保護の観点からは課題がある。既存システムと他のシステムの性能やメリット、デメリットなどを比較検討していく。

**質** 繰り返し返される要望について、恒久対策を考えているか

**答** 何度も要望がある箇所については、恒久的とならないまでも、トータルコストや周辺環境に配慮し、少しでも同じ要望が少なくなるような対策を講じていく。

**質** 要望や問合せを受ける前に、先手で情報発信をする考えはあるか

**答** 愛知県が策定した「道路の整備に関するプログラム」の中に、市内の県道及び市道の情報掲載されているので、市民にわかりやすいものとなるよう市公式ウェブサイトにも掲載していく。また、現在の市公式ウェブサイトでは、道路の新設及び改良事業の当該年度の進捗状況を公表しているが、今後は、単年度のみではなく、事業区間ごとの供用開始の予定時期を公表するとともに、工事現場の看板でもお知らせしていく。



▲供用開始時期が書かれた看板 (イメージ)



大府の子どもたちが  
確かな学力を身に付けるために

藤本 宗久 議員



**質** 子どもたちが身に付けておくべき「生きる力」とは何か。また「学力」は「生きる力」の基礎となるか

**答** 「生きる力」とは、確かな学力、豊かな心、健やかな体であり、「学力」は「生きる力」の基礎の一つと言える。

**質** 就学前の子どもたちに対する言葉や表現の発育に関して、本市の保育園での具体的な取組は何か

**答** 0歳児保育では、言葉の理解や発語の意欲が育つように保育している。1・2歳児保育では、言葉に対する感覚や言葉で表現する力が育つように保育している。3歳以上では感性、創造性を豊かにするように保育している。また、年長児を対象に「就学に向けた保育」を実施している。一人一人の子どもの発達を捉え、「言葉」だけでなく、「健康」「人間関係」「環境」

「表現」の五つの領域全体で様々な経験を積み重ねられるよう総合的に保育していくことが、言葉や表現の発育に重要と考えている。

**質** 「読解力」の重要性をどのように認識しているか

**答** 「読解力」は、事実を正確に読み取り、理解して、伝達することであったり、概念、法則、意図などを解釈して説明したりするなど、学習でも日常生活でも必要な力である。

**質** リーディングスキルテスト(RST)の実施を検討しているかどうか

**答** RSTは、読解力そのものを測るテストで、児童生徒の見えていなかった力を掘り起こすきっかけとなる方法の一つである。他のテストなどと比較し、目的を整理し、判断していきたいと考えている。

※リーディングスキルテストとは、一般社団法人教育のための科学研究所により実施されている、文章に書かれている意味を正確に捉える力を測定・診断するテスト



## 交通安全について

野北 孝治 議員



**質** 交通安全についての基本的な考えは

**答** 「大府市通学路交通安全プログラム」に基づく小中学校の通学路の総点検に加え、緊急点検を行い、児童生徒の交通安全対策の強化に取り組んでいる。高齢者の交通安全対策では、安全運転支援装置設置の補助を行うとともに、本年度から新たに国立長寿医療研究センターと連携し、安全運転技能の維持向上と運転寿命の延伸を目的とした教習トレーニングを実施している。今後も、ハードとソフトの両面から総合的な交通安全対策を推進するとともに、市民、事業所、警察等の関係機関と一体となって、啓発活動に取り組んでいく。

**質** ヘルメット着用率の向上をどのように進めていくのか

**答** 自転車を利用する児童生徒及び高齢者の自転車乗車用

ヘルメットの着用の促進を図るため、ヘルメット購入費補助を本年4月より実施し、広報おおぶ、市公式ウェブサイトを通過して広く啓発している。さらに、自転車を利用する多くの方々にヘルメット着用を促進するため、通学や通勤等で利用される大府駅と共和駅の駐輪場のほか、市役所や公民館の駐輪場に、ヘルメット着用を促すポスターを掲示している。

**質** 自転車損害賠償責任保険等の未加入者が出ないための施策をどのように考えているか

**答** 小中学校を通して、自転車保険への加入を促すチラシを全児童生徒へ配布している。本年10月1日からは、愛知県の「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」とともに、「大府市交通安全条例」により保険加入が義務化されるため、広報おおぶ、市公式ウェブサイトで啓発している。



## 子育て期における切れ目のない支援のために

国本 礼子 議員



**質** 周産期グリーンケアへの拡充の考えはあるか

**答** 既存の産後ケア事業を紹介するのではなく、必要に応じて精神科医療につなげることも含め、現時点では、保健師による訪問や電話等での個別の対応が適切であると考えている。不妊症や不育症など、個々の背景が複雑化していることも踏まえ、医療従事者や保健師等の支援者向け研修への積極的な参加勧奨等を通じて、グリーンケアに対する理解を深め、妊娠期から切れ目のない支援体制を整えるよう努めていく。

**質** 無償化の対象外となつている幼稚園類似施設に対する認識と通園される世帯への支援の在り方をどのように考えるか

**答** 事業を実施する施設等が満たすべき職員配置や開所時間、非常災害に対する措置、活動内容、安全確保等に関する基

準について、今後検討していく必要があると認識している。利用者が安心して子どもを預けることができるよう、実施団体の活動における安全性の確保、対象施設等に対する指導や監査の実施方法等、事業実施に向けた具体的な課題について慎重に検証していく。

**質** 「生理の貧困」について、小中学校ではどのような対応がなされているか

**答** 「生理の貧困」に関する背景には、様々な生活上の課題がある可能性を考慮し、対応が必要だと認識している。小中学校の保健室では、生理用品を必要とする児童生徒に配布しており、対応する養護教諭が児童生徒の様子を注視するとともに、聞き取りをしている。今後も、気になる児童生徒からのサインを見逃さないため、問題点の発見の重要なきっかけであることを周知し、更に努めていく。

※グリーンケアとは、身近な人と死別して悲嘆に暮れる人が、その悲しみから立ち直れるよう、そばにいて支援すること。  
※生理の貧困とは、経済的な理由等により、生理用品を十分に入手できないこと。



新型コロナウイルス感染症から  
いのちと暮らしを守る対策

久永 和枝 議員



**質** 「大府市検査センター」を  
**問** 設置し、無症状の感染者を  
早期発見・保護する考えは

**答** 市内の医療機関でPCR検  
**弁** 査を実施しており、公設の  
検査センターの設置は予定して  
いない。



▲無症状の感染者を把握するすべがない現状

**質** 至学館大学との協定で行っ  
**問** ている、行政検査の対象と  
ならない場合のPCR検査の対  
象範囲を拡大する考えはないか

**答** 本市のPCR検査事業は、  
**弁** 早期に感染者を把握するこ  
とで、感染拡大を防止すること

を目的とし、新型コロナウイルス  
感染症の罹患者が発生した高  
齢者施設、保育施設等の職員や  
利用者などを対象に実施してい  
る。濃厚接触者は県が検査を実  
施し、自主的に検査を希望する  
方は、市内の医療機関等で実施  
しているため、至学館大学での  
検査対象を拡大する考えはない。

**質** 人口10万人を目指す市とし  
**問** て、不足する消防出張所と  
消防職員をどのような計画で増  
やしていくのか

**答** 国の示す「消防力の整備指  
**弁** 針」の数値は、絶対数では  
なく、消防に必要な施設、市街  
地の人口などを考慮して市町村  
が決定すべきとされている。共  
長出張所の新築移転に伴い、職  
員数と車両を増加して、森岡・  
吉田方面の出勤に際し、消防力  
の体制強化を図った。職員数は、  
全庁的な計画により、職員定数  
を考慮しながら、人事担当部局  
と調整を図っている。

**質** 大府市の「性教育」に「生  
**問** 命の安全教育」をどう反映  
させていくとしているか

**答** 本市の性教育は、大府市  
**弁** 「いのちの教育」計画を策  
定し、小一から中三まで発達段  
階における指導計画を作成して  
いる。国が開始した「学校にお  
ける生命の安全教育推進事業」  
の指導モデル等を参考にしなが  
ら、性教育に反映させ、子ども  
たちを性暴力の加害者に、被害  
者に、傍観者にさせない取組を  
引き続き進める。

**質** 子どもが性犯罪・性暴力の  
**問** 被害者や加害者になっ  
てしまった場合、具体的にどのよう  
な対策を考えているか

**答** 当事者本人や家族の気持ち  
**弁** を大切にし、支援が求めら  
れている場合は、学校、幼稚園、  
保育園等の子ども所属先や児  
童相談所等の支援機関と連携し、  
子どもとその家族を支援する。



人権を尊重し、多様性が  
大切にされるまちを目指して

鷹羽 富美子 議員



**質** 中学校の校則の見直しにつ  
**問** いて、文部科学省通知「校  
則の見直し等に関する取組事例  
について」の内容を踏まえ、ど  
のように取り組んでいく考えか

**答** 大人の視点も取り入れなが  
**弁** ら、より良い学校生活のた  
めの生徒主体による取組として、  
今後も学校と教育委員会で連携  
をとりながら進めていく。

**質** 「制服」の検討委員会での  
**問** 服装見直しの進捗状況は

**答** 性別によらない制服の選択  
**弁** など、新しい制服検討の基  
本的な考え方や児童生徒、保護  
者、教員へのアンケート等につ  
いて話し合ってきた。その結果  
を整理し、これらを活用して、  
今後の制服検討の材料としてい  
く。生徒、保護者ともに新しい  
制服に関心が高まり、生徒に  
とって、毎日の生活が「過ごし  
やすい」制服となるように取り  
組んでいる。



人生100年時代に大府で  
元気に暮らしていくために

太田 和利 議員



**問** 今後のフレイル予防への取組をどのように考えているのか

**答** 「プラチナ長寿健診」は、

**弁** 愛知県のオレンジタウン構想において、本市と東浦町の65歳以上の方を対象としたモデル事業として採用され、県内で広く展開できるプログラムの開発が進められている。さらに、本年度からは、愛知県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、保健事業と介護予防の一体的実施を開始し、健康増進課に専任保健師を配置して、「通いの場」における高齢者のフレイルの把握や健康教育を強化している。今後も、国立長寿医療研究センターと連携した研究事業を始め、フレイルの予防につながる取組を積極的に進めていく。

**問** 中学生に正しい歩き方講座を展開していく考えはあるか

**答** 常日頃から背筋を伸ばして歩くことや、前足はかかとから地面に付けることなどを実践していくことが必要である。

**弁** 新しい歩き方や正しい姿勢の要素については、日頃の保健体育科の授業などで気づいたり学んだりして、日常生活の中でそれらを意識することが大切であると考えている。

**問** 子どもたちの運動の質の向上を図るためにどのように取り組んでいく考えか

**答** 外部講師を招いた授業では、子どもたちの運動量は非常に多く、児童は飽きることなく動き続けることができ、運動することを身近なことと考えられることとなっている。早い年代から、体を動かす楽しさや技のポイントなどを理解しながら運動に取り組むことが、質の高い運動に継続的に取り組むことにつながっていくと考えている。

※フレイルとは、加齢による心身の活力、例えば、筋力、認知機能、社会とのつながり等が低下した状態のこと。



屋外スポーツの熱中症から  
市民の命と健康をどう守るか

宮下 真悟 議員



**問** 温暖化による気候変動が年々進行する中で、屋外スポーツによる熱中症リスクをどう認識しているか

**答** スポーツによる熱中症の事故は、不十分な知識と無理をすることによって生じるものであり、適切な予防措置を講じれば防げるものと認識している。

**弁** 平成30年に県内で小学1年生の児童が野外活動後に熱中症で亡くなる痛ましい事故が起こってからは、関係団体への熱中症事故防止に関する文書の送付や、メディアやスポーツ施設におおぶ、体育センターへのチラシの掲示など、熱中症による健康被害の重大さについて、より多くの方への周知に努めている。

**問** 屋外スポーツの市内の各団体の年間スケジュールは、熱中症予防の観点から安心・安全に取り組める時期となっているか

**答** 上位大会の日程の考慮や会場確保のための団体間の日程調整などが必要となる。全ての団体が熱中症リスクの低い時期に大会等を開催することは難しい状態となっており、熱中症対策を講じた上で、施設を利用していただいている。

**問** 「嚴重警戒」以上の日が更に増加する可能性を踏まえ、屋外スポーツの熱中症リスクから市民の命と健康をどう守るか

**答** 今後、「嚴重警戒」以上の日が更に増加する可能性が考えられる中、熱中症リスクの回避をしながら市民の皆様にもスポーツを楽しんでいただくことが必要と考えている。各団体には、大会等の日程や時間の変更を検討していただくとともに、市民の皆様が十分に熱中症対策を講じて、スポーツに取り組んでいただけるよう、継続して熱中症のリスクや対処方法について周知を進めていく。

## 委員会活動報告

### 総務委員会

7月30日、大府市におけるゼロカーボンシティの推進について、東部知多衛生組合と情報交換会を行った。

#### 東部知多クリーンセンター(エコリ)におけるゼロカーボンの取組

エコリは、平成31年度の更新を機に、以下の三つの取組により、ゼロカーボンへの取組を始めた。

一点目は、改善技術の採用により、燃料(コークス等)の使用量が低減され、CO<sub>2</sub>排出量が削減できるシャフト炉を採用したことである。

二点目は、蒸気タービン発電機を新設し、ごみ処理で発生する熱エネルギーをボイラーで回収し、高温の蒸気を発生させて、発電をしていることである。発電した電気は、売電している。

三点目は、施設内での電力使用量を低減させる取組である。具体的には、①ごみ由来エネルギーを活用した発電や温水プールへの利用、②太陽光発電などの再生可能エネルギーの利活用、③自然換気システムの採用等、ごみ処理時の消費電力の削減、

④トップランナー基準による商品の採用等、建築設備における省エネルギー化などである。

#### 所感・大府市への反映

情報交換会を経て、意見交換会を行った。各委員が述べた主な意見は以下のとおり。

- ・発電、売電などでCO<sub>2</sub>削減を計上しているものの、ごみ処理施設そのものは「CO<sub>2</sub>を排出する施設」であり、ゼロカーボンへの取組としては「ごみを減らす、出さない」ことが大事である。
- ・ごみ収集については、エコリを利用しての自治体で全て統一されているわけではなく、共通の認識や理解をしていくことが重要である。

以上、委員同士の意見交換を通じて、「ごみ削減」はゼロカーボンという観点においても外せない重要課題であることを委員間で共有した。



▲東部知多衛生組合との情報交換会(東部知多クリーンセンター)

## 建設産業委員会

本年度の活動テーマについて調査研究をするため、8月3日にシルバー人材センターと情報交換会を行った。

#### 共生社会における公園のあり方について

◎公園にあるといいと思う遊具や施設はあるか。

- ・健康器具・健康ベンチがもっと設置してあるといい。

- ・東屋、木陰、ベンチをもっと増設したほうがいい。

- ・利用者が休めるスペースや駐車場、トイレがもっとあるといい。

◎もつと利用される公園のためには、どうしたらいいと思うか。

- ・密になっている木の枝の剪定をしたほうがいい。

- ・犬のふんの処理の注意看板があるその他の利用者も理解してくれる。

◎今後の公園に求められるのは、どのような役割だと思っか。

- ・安心・安全な公園が第一である。
- ・気楽に来られるところ。
- ・健康促進を図るための場所。

◎公園とはどのような存在で、どうあってほしいか。

- ・利用者が実際に使っているとこを見て、改良していくしかない。

- ・家族連れや高齢者の憩いの場として、木陰や桜、ツツジ、ベンチがある場所になるように、花植えや植樹に力を入れてほしい。

#### 所感・大府市への反映

情報交換会を経て、同日に意見交換会を行った。その際、以下のようない意見が各委員から述べられた。

- ・シルバー人材センターでは、地区ごとに清掃等を担当しており、定期的に公園に行って現状を把握していた。把握している情報を、シルバー人材センターと市が共有できれば、公園のメンテナンスや改修のヒントになるので、市に提案したい。
- ・公園のあり方を考える上で、誰もが使いやすい、楽しめる公園というのは難しい問題だと思う。
- ・公園利用の規制が強まると自由度や楽しみが減ってしまうし、憩いの場としての木陰があると見通しが悪くなり、安心・安全な公園と言えなくなってしまう。公園に求められるものというのは難しい問題だが、委員同士の意見交換を通して、うまくまとめていけたらと思う。

委員会の活動報告の詳細は、市議会のウェブサイトに掲載しています。



# 大府市議会からのお知らせ

## 第4回定例会(12月議会)は、次の日程で開催する予定です

11月30日(火) 本会議 初日

12月 7日(火) 本会議 2日目(一般質問 1日目)

8日(水) 本会議 3日目(一般質問 2日目)

12月10日(金) 建設産業委員会

13日(月) 厚生文教委員会

14日(火) 総務委員会

17日(金) 本会議 最終日

いずれも午前9時からです

## 多様な方の議会での活躍がより可能に！

現在、大府市議会は、議員定数19名のうち8名が女性で、その割合は約42%となり、この女性議員比率は、愛知県内の自治体の中で一番高くなっています。

議会に多くの女性が参画することは、本市の目指す「開かれた議会での活性化を促す」ことの一助となっていると考えます。そして、なお一層、多様な方々が議会での活躍できるように、令和3年9月3日に大府市議会会議規則が改正されました。

これまで、議員の会議の欠席理由については、「公務、疾病、出産」の3項目だけが明記されていましたが、新たに「育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由」が加わりました。さらに、出産については、出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合にあっては、14週間)前の日から、出産後は8週間までの範囲における「産前産後」の期間も含めて欠席できることが、新たに盛り込まれました。



これにより、ますます様々な立場の方の政治参画が可能となり、議会の活性化につながることを大いに期待しています。



### 【編集後記】

「あれっ、もう11月だ。去年の秋はラグビーワールドカップで盛り上がり過ぎていたっけなあ」

「何言ってるんの。ラグビーワールドカップは一昨年でしょ」

では去年は何をしていたのだろうかと考えても、どうしても一昨年と記憶が混同しまうのは私だけでしょうか。

「コロナ禍となつてから間もなく2年。『この2年で老いたなあ』と感じておられる高齢者の方、楽しいはずの思い出も半減してしまった子どもたち。どの世代にとってもこの2年という時間の喪失はあまりにも酷でした。」

みんなで喜びを分かち合い、おいしいものを食べ、外に出掛ける。そんなことが人々の生きがいなのだと思えて感じました。

市民の皆さんの「新しい日常」を想像しつつ、議員控室にて。

(F・M)